

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	運動・学習療育アップセンター南		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		~ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		~ 2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人一人の特性や困り感、日々の様子や変化に敏感になり専門性を持った支援を行っていること。	些細な変化に対しても職員間で情報共有し、少しでも気になった事に関しては様々な方法で保護者様と密に連携をし、日々の療育に活かしている。	・学校や関係機関との連携なども増やしていくため、各方面と情報共有を行う。 ・専門性を高めるための外部研修や、保護者向けのペアレントトレーニング等の研修、保護者交流会などを企画し事業所・家庭の双方で正しい知識を持った療育に繋げるためのプランニングを検討する。
2	・集団の中での振る舞いなどを認知し行動することが出来るよう、手順や手立てを伝えていること。	拳手によるSOS発信や、褒められる行動を参照力をもって理解できるように、出来ている他児が評価されていることを意識出来るような場面づくりを行っている。	・必要に応じて学校訪問などを行い、より学校生活に必要なスキルやそれに伴う周りの配慮などを保護者様と共有を行う。
3	・「見る」「聞く」「待つ」の徹底。 ・本人主体のレベルアップを徹底し、「やりたい」という気持ちを持たせるための個別・小集団の活動を行う。	活動な流れや所作などの個人的なスキルを個別・小集団で身につけた後、大集団の近い環境に置き、自ら『自分もみんなとやってみよう』という気持ちになるような環境づくりを行っている。	・積極的な自己表出を促すとともに、お互いを感じたことや、こうしてほしいということを伝えあえる場を持っているよう、子どもたちだけの活動の場面を多く持てるようなプログラムを準備する。 ・活動の様子を保護者様方へも広く開放し家庭でも取り入れられることを持ち帰ってもらう機会を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ADLの自立が基準となっており、カリキュラム自体放デイ内容に沿っての活動になるため年長児のみでの受け入れになっていること。	児発特化のカリキュラムをおこなっていないこと。	・ペースダウンしたトレーニングを木曜に用意していることから、他曜日での取り組みに参加できるスキルを身につけた利用児より他曜日への変更を促し、年長児やそれ以下で参加可能な児童の受け入れを検討する。
2	・保護者参加型のイベントや交流会などの機会が持てない。	以前、茶話会などを開催したこともあったが、準備等の煩雑さに比べ参加される方に偏りがあり、広く多くの方にご利用頂けず以降開催となっている。	・目的を持った研修会や講演会、交流会などを保護者様の希望を元に可能な範囲で検討。
3			

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	運動・学習療育アップセンター南		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 51
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日 ~ 2026年 2月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人一人の特性や困り感、日々の様子や変化に敏感になり専門性を持った支援を行っていること。	些細な変化に対しても職員間で情報共有し、少しでも気になった事に関しては様々な方法で保護者様と密に連携をし、日々の療育に活かしている。	・学校や関係機関との連携なども増やしていくため、各方面と情報共有を行う。 ・専門性を高めるための外部研修や、保護者向けのペアレントトレーニング等の研修、保護者交流会などを企画し事業所・家庭の双方で正しい知識を持った療育に繋げる。
2	・中高生向けのプログラム(PC)に加え、小学校中学年向けのeラーニングクラスを設定し、LD等に対するICTスキルを身に着けられるよう支援を行っていること。	短時間で集中して取り組めるようカリキュラム時間を配慮したり、自発的に取り組めるよう教材や課題を利用児の興味や好みに合ったものを用意するなどし、楽しみながらスキルアップが出来るよう課題を工夫している。	・利用児や保護者からの要望も取り入れつつ、様々な形でのパソコンのスキルアップを行う。 ・学習な時間等で学校で使用しているタブレットでの学習を行えるよう環境整備を整えていく。
3	・コミュニケーションを図るための基本的なスキルを身に着けられるよう、「表現」「レストタイム」などでゲームやコミュニケーションツールを使用し他者理解に繋がるような活動を行っていること。	禁止事項ばかりを伝えるのではなく、場にそくした関わりになっているかを再確認できるよう、集団活動の中で互いに言葉のやり取りを多く持てるような様々なツールや取り組みを用意し、楽しみながら自己表出を増やせるようにしている。	・認知のゆがみの修正や積極的な自己表出を促すとともに、お互いに感じたことや、こうしてほしいということを伝えあえる場を持つよう、子どもたちだけの活動の場面を多く持てるようなプログラムを準備する。 ・活動の様子を保護者様方へも広く開放し家庭でも取り入れられることを持ち帰ってもらう機会を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・休み時間が限られており、コミュニケーションをとる場面に時間を割くことが出来ないこと。	平日では時間割上10分の休憩の中で遊びや言葉のやりとりに限られてしまっていること。	・カリキュラムの中で「相談する」などの場面を持ち、相互理解や折り合いのつけ方などを身に着けられる機会を増やす。
2	・保護者参加型のイベントや交流会などの機会が持てない。	以前、茶話会などを開催したこともあったが、準備等の煩雑さに比べ参加される方に偏りがあり広く多くの方にご利用頂けず以降否開催となっている。	・目的を持った研修会や講演会、交流会などを保護者様の希望を元に可能な範囲で検討。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動・学習療育アップセンター南

公表日 令和8年3月13日

利用児童数 79名

回収数 51

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	10	0	3	・ビルの1室なので運動が思い切りできないが、周りに気を使いながら行動する練習になるので良いかなと思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44	3	1	3	・息子がアップで1人である時先生が声をかけるべきか、そのまま一人で様子を見るべきか判断してくださっています。大人の目が届かなくてずっと一人でいることは内容でとても安心してしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	2	0	5	・とても手厚くサポート頂いていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	3	0	4		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	49	2	0	0	・丁寧なヒアリングをした上で支援計画を作成して下さるので助かります。 ・1日のスケジュールがしっかり足りているので見通しがつき、安心して過ごせていると思います。他の事業所では同じ部屋で勉強している子もいるし遊んでいる子もいる…という環境だったので、息子の特性的に集中することが難しかったんですがアップでは有意義に過ごせていると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	0	0	0	・自宅で接する時の参考にする時もあります。 ・それ以上の内容であると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	51	0	0	0	・子どもを見て、保護者の希望を踏まえて作成頂いていると思います。 ・声掛けや環境づくりなど様々な配慮をして頂き有難いです。 ・親が気付かないことにも気づいてくださいます。 ・息子の特性をよく理解して下さり、相談したいことに『それは時間のかかること』『〇〇してみるといい』とアドバイスを頂けるのでこちらも焦って息子に無理に焦って押し付けていたんだなと気付かせて頂けて有難いです。	
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインおよび放課後等デイサービスの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	49	2	0	0		
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	3	0	1	・その日の参加人数によって臨機応変に対応して下さり、いつもと内容が違う日は特別感があって息子も嬉しそう報告してくれます。	
	11 (児童発達支援のみ) 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1					
	12 (放課後等デイサービスのみ) 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	5	18	19	・12月～利用なので自分の目で見ていないので	
13 事業所を利用する際に、契約内容、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50	1	0	0			
14 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	2	1	0			

保護者への説明等	15	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	8	11	11	・ベトレントレーニングがあるとありがたいです。 ・親向けのセミナーがあれば参加したいです。
	16	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	49	2	0	0	・自分(こども自身)での説明が下手なのでフィードバックにいつも助けられています。 ・チックの症状が出た際に、いち早くその様子や状況などを連絡いただき児童精神科の先生にも伝えることが出来たこと。 ・HUGでは活動の様子を本当に細かく伝えて下さり、必ず良かったことを教えてくださいます。毎回息子には伝えるようにしていて、本人も自信に繋がっていると思います。
	17	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50	1	0	0	・UPさんの面談はとても結実な時間です。 ・定期的に相談できる機会があり本当にありがたいです。
	18	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	2	0	0	
	19	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	8	18	21	・保護者同士の交流の機会を作ってもらえると嬉しい
	20	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45	2	0	4	・学校の子供への対応に悩んでいた際、迅速に話を聞いていただきました。とても心強いアドバイスと親身になって寄り添って頂けたことが本当にうれしく救われました ・こちらが相談したいと伝えたことで嫌な思いをしたことは一度もないです。毎回すぐに相談する日と決めて下さり、適切にお答えいただいています。本人も「普段からすごく頑張っています」と伝えて頂けるので私自身が考えすぎて居たり息子の特性を理解しきれず厳しくしていたり…と反省して、先生がストッパーになって下さり本当に感謝しています。
	21	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	1	0	0	
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	49	1	0	1	
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50	0	0	1	
非常時等の対応	24	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	2	0	2	
	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50	0	0	1	・大切なことを繰り返し訓練して頂いているので本人もしっかり身についていると思います。
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	47	2	0	2	
	27	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	45	2	0	4	
満足度	28	こどもは安心感をもって通所していますか。	49	2	0	0	・居場所として安心して通っております。 ・アップの先生方の事は信頼していて安心して過ごせていると思います。
	29	こどもは通所を楽しみにしていますか。	44	6	1	0	・今年度は行き渋りもなく、楽しく通所しています。
	30	事業所の支援に満足していますか。	50	1	0	0	・目に見えて成長しているので大満足です ・いつも言葉では言い尽くせないほど感謝しております。これからもよろしくお願いします。

	31	その他・ご要望	
--	----	---------	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動・学習療育アップセンター南					公表日	令和8年3月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	9	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	最低配置人数は満たしている	日によって人員数に余裕があるとありがたい		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0				
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1				
	6	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	9	0				
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2				
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2				
適切な支援の提供	9	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0				
	10	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	9	0				
	11	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	中高生などの年長児童に対してあえてこちらから声をかけず次補発信で自己判断を促す取り組みを行っている			
	12	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0				
	13	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインおよび放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1				
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0				
17	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0					

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	21	(児童発達支援のみ) 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		
	22	(児童発達支援のみ) 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	23	(児童発達支援のみ) 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	24	(放課後等デイサービスのみ) 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1		
	25	(放課後等デイサービスのみ) こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	4		
	26	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	27	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2		
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		
	30	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
	31	(児童発達支援のみ) 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		
32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0			
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4			
保	34	契約内容、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	35	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		

護者への説明等	38	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6		
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		
	41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		
非常時等の対応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	9	0		